

腎臓について 市民公開講座

来月11日、大分市で

日午後1時半から、大分市のホルトホール大分で「市民公開講座」来て見てガッテン「腎臓のこと」を開く。入場無料。

世界腎臓デー(3月9日)に合わせ、大分県保険者協議会や大分市などは3月11日 市民の3人に1人が高血圧

5年度の国民健康保険特定健診の結果によると、大分市に1人が高血圧

健康状況見直す機会に

大分大 柴田教授



にありま 査(タンパク尿やアルブミン尿)をすることが大切です。

大分大医学部内分泌代謝 膠原病・腎臓内科の柴田 洋孝教授(顔写真)は次の 「推算糸球体ろ過量(eGFR)」が、60ml/min/1.73平方メートル以下の状態が 腎臓は血液をろ過して老 廃物などを取り除き、尿を 作る器官です。CKDは、 腎臓が傷つき血液をろ過で きず老廃物が体内にたまる 病気です。3カ月以上にわ

たり、尿の異常や老廃物を 排出できるかの指標となる 「推算糸球体ろ過量(eGFR)」が、60ml/min/1.73平方メートル以下の状態が 高くなります。大分県は、 人口当たりの透析導入患者 数が国内でも多いと指摘さ れています。原因として は、糖尿病が進行して発 症する糖尿病性腎症が一番 多く、増加傾向にありま ます。その他に慢性腎炎(IgA腎症)は減少傾向にあ りますが、高血圧が原因で 起る腎硬化症は増加傾向

病(CKD)の治療」と題し て、それぞれ解説する。減塩 料理の紹介や血糖測定、健 康相談のブースを設ける。 予約が必要で席に余裕が あれば当日も受け付ける。 代表者の氏名と人数、連絡 先を記入し、大分市保健所 健康課(ファクス097・ 5322・3250、メール chihoka@ota.med.or.jp)などで申し込む。問 い合わせも同課(☎097・ 5336・2562)へ。

にありま 査(タンパク尿やアルブミン尿)をすることが大切です。 肥満や高血圧、脂質異常 症、糖尿病などの生活習慣 病を予防、コントロールす るためには、食塩やタンパ ク質の制限、カロリーなど に注意する食事療法と運動 療法が重要で、必要に応じ て薬物治療も行います。市 民公開講座で自分の健康状 況を見直す機会にしてくだ さい。